



平成30年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
 コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹野 幸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦

TEL 06-6416-1184

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	5,109	13.8	285	51.3	316	41.0	281	115.5
29年9月期第3四半期	5,927	3.7	188	76.8	224	58.6	130	31.1

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 322百万円 (41.6%) 29年9月期第3四半期 228百万円 (311.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	124.02	
29年9月期第3四半期	57.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	10,348	7,628	73.0
29年9月期	10,731	7,363	68.1

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 7,559百万円 29年9月期 7,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		15.00		15.00	30.00
30年9月期		15.00			
30年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末と期末日を基準日と定めておりますが、期末日における配当予想額は現時点では未定であります。

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	3.1	50	79.4	90	68.6	50	72.9	22.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期3Q	2,678,600 株	29年9月期	2,678,600 株
期末自己株式数	30年9月期3Q	403,886 株	29年9月期	411,187 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期3Q	2,271,802 株	29年9月期3Q	2,267,558 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日から平成30年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中、政府・日銀による各種政策の効果もあり、緩やかな回復期待の中で推移いたしました。

当社グループは、発電所用バルブの製造とメンテナンスを主な事業としております。東日本大震災の津波による東京電力福島第一原子力発電所事故以降、原子力発電所（以下、「原発」）を取り巻く環境が大きく変化し、原発の定期検査工事を事業のひとつの柱とした当社グループのビジネスモデルに大きく影響が生じ、震災から7年を経過した現在に至っても、依然厳しい事業環境が継続しているとの認識です。

これまでに、九州電力川内原発・玄海原発、関西電力高浜原発・大飯原発、四国電力伊方原発が紆余曲折を経て再稼働しました。しかし平成29年12月には四国電力伊方原発に対し運転差し止めの司法判断が出るなど、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、今後さらに再稼働が続くことで、事業環境は確実に回復に向かうものと考えております。

このような中、当第3四半期連結累計期間におきましては、バルブ製品の受注・生産は好調に推移しており、第3四半期連結会計期間にかけて徐々に売上は増加してまいりました。損益面でも、比較的採算性に優れる原発関係、部品、修理といった製品・サービスの売上が伸長したことに加え、受注損失引当金の戻入益が1億60百万円発生したことなどから大幅に改善し、売上高51億9百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益2億85百万円（前年同期比51.3%増）、経常利益3億16百万円（前年同期比41.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億81百万円（前年同期比115.5%増）と減収ながら大幅な増益となりました。

報告セグメント別の状況では、バルブ事業の製品関係は、インドネシアの火力発電所向け高圧弁一式、神戸製鋼所真岡発電所向け高圧弁一式などを売上計上したほか、火力発電向けに細かな案件を積み上げた結果、前年同期を上回る売上となりました。

一方、バルブメンテナンスは原発の再稼働準備関連工事案件が減少したことを主因に減収となり、この結果、バルブ事業全体では売上高40億73百万円（前年同期比10.3%減）で減収となりましたが、部品や原発向けバルブ製品といった採算性に優れる製品の売上が増加したことから、セグメント利益は8億23百万円（同10.9%増）となり、前年同期に比して増益となりました。

製鋼事業は、主要顧客の一部が海外生産に移行した影響を受け、好調であった前連結会計年度までとは一変し、売上高は6億30百万円（前年同期比29.2%減）となりました。これによりセグメント利益も1億65百万円の赤字（前年同期は1億12百万円の赤字）となりました。

除染事業はこれまでに引き続き、地域除染、復興関連業務を中心に事業展開をしておりますが、前連結会計年度からの継続案件を中心に事業展開を行うものの事業規模の縮小などにより、売上高は4億12百万円（前年同期比18.4%減）、セグメント利益は39百万円（同38.8%減）となりました。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ（新製弁）	1,196	1,256	5.1
	バルブ用取替補修部品	723	637	△11.9
	原子力発電所定期検査工事	1,001	808	△19.2
	その他メンテナンス等の役務提供	1,617	1,370	△15.3
	小計	4,539	4,073	△10.3
製鋼事業	鋳鋼製品	889	630	△29.2
除染事業	地域除染等	505	412	△18.4
消去又は全社		△6	△7	—
	合計	5,927	5,109	△13.8

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産残高は103億48百万円で、前連結会計年度末に比して3億82百万円減少しました。

これは主に現金及び預金が23億83百万円減少したことによるものですが、一部当座の余剰資金を短期の有価証券で運用しており、現金及び預金並びに有価証券の合計では13億83百万円の減少となっております。

負債残高は27億20百万円で、前連結会計年度末に比して6億47百万円減少しました。銀行借入金の約定弁済による減少が2億65百万円、受注損失引当金の減少が1億60百万円あったことが主な要因です。

純資産の残高は76億28百万円で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比して2億65百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、下表に示すとおり平成29年11月10日に「平成29年9月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想を超過し推移しております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
平成29年11月10日公表値	7,850	50	90	50
当第3四半期連結累計期間	5,109	285	316	281
達成割合	65.1%	570.8%	351.9%	563.5%

これまでのところ、受注・売上計画に重大な変更は生じておらず、第4四半期連結会計期間には27億円以上の売上を計画するものの、これまで滞留してきたたな卸資産（仕掛品）が今後一気に減少するものと見込んでいます。この結果、当第3四半期連結累計期間の黒字要因のひとつである、たな卸資産の増加による損益改善影響が反転していく見込みです。

また、製品関係の受注状況は安定はしているもののこれまでほどではなく、徐々に本社工場の稼働率は低下すると見込まれます。加えて、新たな受注損失引当金の繰り入れが見込まれることから、今後、大幅な利益の伸長は望めないものと想定しております。

こういった見通しに加え、今期の売上計画に織り込む一部の大型案件については、納期が期末間近であるため工期の変更などにより売上が来期にずれ込む可能性もあります。

このように依然、いくつかの不確定要素を含むことから、現時点において当初の予想を維持することとし、現時点ではこれらの修正等を行いません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,109,411	1,726,012
受取手形及び売掛金	2,418,248	2,830,875
有価証券	—	999,991
商品及び製品	99,040	100,706
仕掛品	906,925	1,543,577
原材料及び貯蔵品	720,332	704,949
その他	71,443	98,876
貸倒引当金	—	△920
流動資産合計	8,325,402	8,004,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	493,857	465,388
機械装置及び運搬具(純額)	562,193	496,857
土地	261,363	261,363
その他(純額)	104,297	90,655
有形固定資産合計	1,421,712	1,314,265
無形固定資産	197,913	245,084
投資その他の資産		
投資有価証券	727,378	731,916
その他	68,859	63,386
貸倒引当金	△10,022	△10,022
投資その他の資産合計	786,215	785,281
固定資産合計	2,405,842	2,344,631
資産合計	10,731,244	10,348,699
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	590,185	613,278
1年内返済予定の長期借入金	285,844	80,808
未払法人税等	63,983	716
賞与引当金	279,140	110,743
役員賞与引当金	22,008	—
受注損失引当金	495,202	335,118
その他	491,514	556,851
流動負債合計	2,227,878	1,697,516
固定負債		
長期借入金	96,970	36,364
繰延税金負債	121,293	123,351
P C B 処理引当金	18,252	18,252
退職給付に係る負債	779,891	736,633
その他	123,540	108,022
固定負債合計	1,139,948	1,022,624
負債合計	3,367,826	2,720,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,019,967	2,018,103
利益剰余金	3,973,464	4,187,086
自己株式	△683,284	△671,103
株主資本合計	7,049,706	7,273,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,175	302,962
為替換算調整勘定	16,632	10,730
退職給付に係る調整累計額	△60,889	△27,855
その他の包括利益累計額合計	255,919	285,837
非支配株主持分	57,791	69,075
純資産合計	7,363,417	7,628,559
負債純資産合計	10,731,244	10,348,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,927,429	5,109,366
売上原価	4,615,094	3,851,932
売上総利益	1,312,335	1,257,433
販売費及び一般管理費	1,123,673	972,037
営業利益	188,661	285,396
営業外収益		
受取利息	985	212
受取配当金	17,657	21,332
補助金収入	4,887	—
雑収入	18,362	14,594
営業外収益合計	41,892	36,140
営業外費用		
支払利息	5,334	1,499
為替差損	—	1,379
支払手数料	—	1,500
雑損失	602	459
営業外費用合計	5,936	4,838
経常利益	224,617	316,698
特別利益		
固定資産売却益	957	263
特別利益合計	957	263
特別損失		
固定資産処分損	13,137	411
特別損失合計	13,137	411
税金等調整前四半期純利益	212,436	316,550
法人税、住民税及び事業税	62,863	21,433
法人税等調整額	1,516	2,078
法人税等合計	64,380	23,511
四半期純利益	148,056	293,038
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,302	11,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,753	281,754

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	148,056	293,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,444	2,786
為替換算調整勘定	7,650	△5,902
退職給付に係る調整額	5,947	33,033
その他の包括利益合計	80,042	29,917
四半期包括利益	228,099	322,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,796	311,672
非支配株主に係る四半期包括利益	17,302	11,283

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,532,187	889,884	505,358	5,927,429	—	5,927,429
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6,903	—	—	6,903	△6,903	—
計	4,539,090	889,884	505,358	5,934,332	△6,903	5,927,429
セグメント利益又は損失(△)	742,418	△112,028	63,736	694,126	△505,465	188,661

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△505,465千円には、セグメント間取引消去5,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△510,865千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,066,411	630,406	412,547	5,109,366	—	5,109,366
セグメント間の内部売上高又は 振替高	7,294	—	—	7,294	△7,294	—
計	4,073,705	630,406	412,547	5,116,660	△7,294	5,109,366
セグメント利益又は損失(△)	823,520	△165,144	39,027	697,404	△412,008	285,396

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△412,008千円には、セグメント間取引消去2,328千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414,336千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。